

大山町オリジナル 「婚姻届受理証明書」第1号 交付式を行いました

この証明書は11月から運用したもので、大山町役場に婚姻届を提出された方で希望があれば交付されます。大山北壁と町公式キャラクターの「むきぱんだ」があしらわれ、デザイン付きは県内初です。

今回、第1号として11月22日に婚姻届を出された徳永隼さんと照美さんへの交付式が行われました。隼さんは「まさか第1号になるとは思っています。いつも見慣れている大山が描かれている証明書で、いい記念になります」と話されました。



▲一生の思い出になります

寄付ありがとうございます

12月9日に有限会社森の国 伊澤大介代表取締役社長から、「児童・生徒の体力向上に役立ててほしい」と、20万円の寄付をいただきました。昨年度は、町内の小・中学校において、各種スポーツ用備品や、体力測定器等を購入させていただきました。

今年度も体力向上に役立つよう、体育用備品の整備等に、有効に活用させていただきます。



▲鷲見教育長に寄付を手渡す伊澤社長（左）

名和クリーンセンターで ごみ処理について 学びました

名和クリーンセンターでは毎年、小学4年生の社会科見学の受入れを行っています。児童は、施設見学を通してごみ処理の仕組みやごみの行方について学びます。また、職員の話聞き、焼却の様子や混入した多くの不燃ごみを実際に見たりすることで、ごみの多さや分別の大切さ、気づく機会になっています。

児童から送られた感想文の一部をご紹介します。



▲焼却炉から出てきた不燃ごみについて説明を受ける児童たち

一年間に三一八八トンのごみが出されるということがわかりました。そのうち一二四四トンは米子市に持って行って焼かれることがわかりました。ごみを燃やす温度は、850℃から950℃だとわかりました。

（大山西小 池本洗さん）

見学してわかったことは、燃えないごみを燃やすと機械の寿命が短くなることです。家でも分別に気をつけたいです。燃えるごみの中に燃えないごみを入れないように気をつけたいです。

（大山西小 松田羽望さん）

